

アレルギーの血液検査

☆血液検査で何がわかるの？

一口にアレルギーと言っても色々な機序や経路が存在します。そのうち代表的なものがIgEというたんぱく質を介したアレルギーです。

血液検査では、このIgEの量を調べることでアレルギーの有無程度を数値化して示しているということになります。

IgEは個々のアレルゲンに対して無数に存在するため、例えばダニに対するIgEやスギに対するIgEを調べてそれらが高ければダニ、スギに対してアレルギーがあると説明します。このように、ある特異的なアレルゲンに対するIgEを個別に調べることを、特異的IgE検査(RAST)と呼んでいます。

それに対し、不特定のIgEの合計を調べる検査を非特異的IgE検査(RAST)と呼びます。

☆信頼性は？

食事など口から摂取するものと、ダニやハウスダスト、カビ、動物上皮など皮ふを介して触れるものとは別に考える必要があります。

食事の特異的IgEは、卵と牛乳、ピーナッツや小麦の一部タンパク質などを除いて、信頼性はあまり高くありません。つまり血液検査で陽性を示さない物質にアレルギー反応が起こることはありえるし、陽性を示してもアレルギーがあることの絶対的な証拠にはなりません。血液検査で反応しても、アレルギーを起こさない人はたくさんいます。これは診断をする上であくまでも参考指標になるということであって、確定診断には使用できないということです。

ですから、特異的IgEの検査だけを鵜呑みにして厳格な食事制限を始めることはお勧めしません。ただし、陽性のものを食べたときに皮疹が悪くなるかどうかを観察してもらいたい材料になると思います。一番重要なのは、実際に食べて悪くなるかどうかです。

一方、ダニ、ハウスダスト、花粉、カビ、動物など、皮ふを介して接するアレルゲンの特異的IgEにはある程度信頼性があると思います。



☆CAPアレルゲン 16種セット

鼻炎・喘息	小児アレルギー	成人アトピー	食物アレルギー	食餌系	吸入系
ハウスダスト1	ヤケヒョウヒダニ	ヤケヒョウヒダニ	卵白	ハウスダスト2	ハウスダスト2
ヤケヒョウヒダニ	すぎ	すぎ	オボムコイド	コナヒョウヒダニ	コナヒョウヒダニ
すぎ	ネコ皮膚	ネコ皮膚	ミルク	すぎ	卵白
ヒノキ	イヌ皮膚	イヌ皮膚	小麦	ネコ皮膚	大豆
はんのき	ゴキブリ	カンジダ	大豆	卵白	ぶたくさ
かもがや	卵白	ピチロスポリウム	そば	ミルク	よもぎ
ぶたくさ	オボムコイド	黄色ブドウ球菌B	ピーナッツ	チーズ	おおあわがえり
よもぎ	ミルク	ガ	イクラ	牛肉	はるがや
ネコ皮膚	小麦	小麦	まぐろ	鶏肉	すぎ
イヌ皮膚	大豆	大豆	エビ	エビ	ペニシリウム
カンジダ	そば	そば	カニ	カニ	クラドスポリウム
アスペルギルス	ピーナッツ	ピーナッツ	キウイ	まぐろ	カンジダ
アルテルナリア	イクラ	エビ	バナナ	さけ	アルテルナリア
ガ	まぐろ	カニ	りんご	小麦	アスペルギルス
ユスリカ	カニ	イワシ	クルミ	米	ネコ皮膚
ゴキブリ	エビ	サバ	ごま	大豆	イヌ皮膚